

5日間で164キロを完歩

明德短大 12人が遍路体験学習



財田川沿いの遍路道を本山寺に向かう

の休憩のち出発、ここからは奈良の山下正樹さん(公認先達)も合流、弥谷寺に向かった。

今回の総行程は一六四キロ、相当に遍路慣れた人に相応しい距離。中でも十日の行程は強行軍覚悟、朝六時の出発であったが、さすがに弥谷寺の階段は翌日に練り下げた。

明德短大の二十年度「歩き遍路体験学習」は興寺を目指したものの、九月八日(月)第六十一番香園寺をスタート、十二日(金)午後四時、一宮寺で結願した。今年参加した学生は八人、教員を合わせ十二人。

十日早朝、民宿・岡田を出て札所中最も標高の高い雲辺寺に向かう。僅

かな休憩のち一氣に大興寺を目指したものの、ここで予定時間を大幅に超過してしまった。その後挽回したもの約一時間遅れて観音寺発、財田川沿いの道を本山寺へ。山門をくぐった一行は本堂前に集合、この日の先達役の学生が寺の縁起などを説明した。十五分

平成十三年にスタートした「歩き遍路体験学習」は八年かけて全周する予定であったが、初回のコース(大寶寺・香園寺)を重複したため、来年結願する。来年は一宮寺から始まり大窪寺までは二日間のコース。三日目以降は高野山に向かうか再び一番から二巡目に足を伸ばすか。いずれにしても同学は再来年以降も継続する方向で検討を進めるようだ。